

定例プレスリリース（令和８年 10 月 13 日）

１．　山形新幹線庄内延伸に関する講演会を開催します（企画調整課）

２．　史跡山居倉庫見学会を開催します（文化政策課）

３．　関係人口増加に向けた首都圏連続イベント第２回目を開催します
（地域みらい創生課）

４．　酒田緑の少年団 秋の森林教室を開催します（農林水産課）

５．　鶴岡市消防本部と酒田地区広域行政組合消防本部が合同で水難救助訓練を実施します（消防本部総務警防課）

定例プレスリリースは原則週一回、毎週月曜日に行います（月曜日が休日および祝日の場合は翌平日）。

次回の定例プレスリリースは令和８年 10 月 19 日（月）に行います。

●プレスリリースに関するお問い合わせ
総務課広報広聴係　中川
TEL 26-5706　FAX 26-3688
E メール koho@city.sakata.lg.jp

令和８年 10 月 13 日

酒田記者クラブ加盟社　各位

山形新幹線庄内延伸に関する講演会を開催します

このたび、（株）DMC 天童温泉代表取締役 山口 敦史氏、富山大学名誉教授 中川 大氏を講師に招き、山形新幹線庄内延伸に関する講演会を開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

〇内陸地域からのインバウンド誘客につながる地域づくりや、鉄道の高速化を軸とした今後のまちづくりについて考える貴重な機会となります。

〇「山形新幹線を庄内へ！～観光インバウンドと鉄道高速化が創る地域の未来～」をテーマに２部構成の予定です。

第１部：「旅行者に選ばれる地域づくりの実践と課題」

講師　（株）DMC 天童温泉代表取締役　山口 敦史氏

第２部：「鉄道が変われば、地域が変わる

～庄内から考える高速鉄道と在来線の可能性～」

講師　富山大学名誉教授　中川 大氏

日　時／11 月 28 日（土）午後１時～3 時（予定）

場　所／ミライニ２階　ル・ポットフー

対　象／どなたでも（要事前申し込み）

費　用／無料

●お問い合わせ
企画調整課企画調整係　加藤　浩
TEL 26-5704　FAX 26-6482
E メール kikaku@city.sakata.lg.jp



令和８年 10 月 13 日

酒田記者クラブ加盟社　各位

史跡山居倉庫見学会を開催します

このたび、史跡山居倉庫見学会を開催します。
つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント
○史跡山居倉庫で今後予定している整備に先立ち、現在の倉庫群の様子や歴史的価値、今後の整備計画などを紹介します。
○職員の解説を聞きながら、普段は非公開となっている倉庫群を見学できます。

日　　時／10 月 17 日（土）
第１回　午前　9 時 30 分～10 時　（受付開始　午前 9 時 15 分）
第２回　午前 10 時 30 分～11 時　（受付開始　午前 10 時 15 分）
第３回　午前 11 時 30 分～正午　（受付開始　午前 11 時 15 分）

集合場所／山居倉庫１号棟前（旧庄内米歴史資料館前）

内　　容／1 号棟から 10 号棟について、職員が解説しながら案内

申し込み／事前申し込みは不要です。当日集合場所へお越しください

そ の 他／見学場所はバリアフリーに対応していませんので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ
文化政策課　川島、真嶋
TEL 24-2994　FAX 26-6482
E メール bunkazai@city.sakata.lg.jp



令和８年 10 月 13 日

酒田記者クラブ加盟社　各位

関係人口増加に向けた
首都圏連続イベント第２回目を開催します

地域のキーパーソンや行政と顔の見える関係人口を構築することを狙いとした首都圏における連続イベント（全３回予定）の第２回目を開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

○地方に関わることができるきっかけや具体的な機会を参加者に提供することによって、地域のキーパーソンとの継続的な関係性の構築を狙う。

○「シャッター商店街を再生させる祭づくり」をテーマに、地域でまちづくりを実践している人、地域でリアルな課題を抱えている人をゲストスピーカーとして招聘する。

○参加者、ゲスト、地域のプレイヤーおよび市役所職員などが混ざり合いながら、酒田市にある「中町」を再生させる具体的な企画会議をその場で行う。

日　時／10 月 17 日（土）午後１時～６時（0 時 45 分受付開始）

場　所／渋谷ＱＷＳ（キューズ）　クロスパーク
（東京都渋谷区渋谷二丁目 24-12 渋谷スクランブルスクエア(東棟)15階）

対　象／酒田と関わりたいすべての方

◆詳細は別紙チラシを参照してください。

●お問い合わせ
地域みらい創生課関係人口創出係　国松、菅原
TEL 43-8321　FAX 22-3910
Ｅメール mirai-sousei@city.sakata.lg.jp

参加料 無料 / 定員 50名

出張酒田市役所 地域みらい会議 Vol.1

山形県酒田市役所 地域創生部 地域みらい創生課

10/17(土)
13:00～18:00

@SHIBUYA QWS
東京都渋谷区渋谷2丁目24-12
スクランブルスクエア15F

シャッター商店街を再生させる祭づくり。

まちづくりに関わってみたい。地域で自分の力を試してみたい。
そんな想いを持った方々と共に地域のみらいを考えたい。
今回のテーマは、「シャッター商店街を再生させる祭づくり」。
地域でまちづくりを実践している人、地域でリアルな課題を抱えてる人が集まります。調べるだけでは出てこない、まちの生々しい現実を全部聞いて、明日から何ができるか、みなさんと一緒に見つけられたら嬉しいです。

トークセッション

SESSION 01
うねりが起こる祭づくりとは？



菅原 理之
株式会社SUNDAY FUNDAY代表。フェスや銭湯、カードゲームといった人が夢中になる「遊び」を起点に、場とコミュニティをつくる。



くまがい けんすけ
株式会社ソーシャルロマンティック 代表取締役。足立区綾瀬にある団地 いろどりの杜を中心に活動し、東東京エリアのロマンティックサーキュレーションの実現を目指す。

SESSION 02
地域のシャッター商店街の現在



高橋 剛
総合建設業（株）丸高の代表取締役。建設業協会の代表理事を経て、地元資本だけからなる商業施設いろは蔵パークを立ち上げる。現在は酒田市中心市街地の面的再生に向けて、地元一丸のための原動力の一翼を担う。



西村 貴雄
仮設機材株式会社所属。2023年に酒田市にUターン。中心市街地にある旧百貨店の再生プロジェクトに携わっている。

祭づくり企画ブレスト

ただ話を聞いて終わらないのがこのイベント。実際に山形県酒田市にある商店街「中町」の現在をテーマに、
参加者の皆さんやゲスト、地域のプレイヤー、市役所職員などが混ざり合いながら、どんな祭づくりがシャッター商店街を再生させるか具体的に企画会議をその場で行なっていきます。

このイベントで出会えること

1. 調べても出てこない まちづくりの生の話が聞ける
2. 自分のまちづくりへの 関わり方を見つけられる
3. ただ話を聞いて終わらない 実践の機会につながる

問い合わせ先　電話：0234-43-8321　メール：mirai-sousei@city.sakata.lg.jp



令和８年 10 月 13 日

酒田記者クラブ加盟社　各位

酒田緑の少年団 秋の森林教室を開催します

このたび「酒田緑の少年団 秋の森林教室」として、庄内海岸林への植林活動と苗木製作体験を行います。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

〇酒田緑の少年団は、緑を愛し、緑を守り・育てる心を養うため結成された団体です。

〇松くい虫の被害を受け伐採された跡地に抵抗性クロマツを植林します。

〇また、植林後に広葉樹の苗木製作体験を実施します。

日　時／10 月 24 日（土）午前９時～正午

場　所／北庄内森林組合酒田支所（浜中字八間山 858-76）
※植林は付近の市有林で実施します。

内　容／庄内海岸林の歴史・現状を学び、植林活動および苗木製作体験を行う

●お問い合わせ
農林水産課水産林業振興係　村岡
TEL 43-8708　FAX 26-6483
E メール norin@city.sakata.lg.jp



令和８年 10 月 13 日

酒田記者クラブ加盟社　各位

鶴岡市消防本部と酒田地区広域行政組合消防本部が合同で水難救助訓練を実施します

このたび、鶴岡市消防本部と酒田地区広域行政組合消防本部が水難事故発生時の連携強化を目的として訓練を実施します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント
〇鶴岡市消防本部の水難救助隊は、潜水装備を用いて水中で活動できる県内唯一の隊です。
〇潜水による捜索救助活動時の連携要領を確認します。
〇ゴムボートや水上オートバイを出艇させ、潜水隊員の活動補助や安全監視を行います。

日　時／10 月 26 日（月）午前 10 時～正午
（予備日）10 月 28 日（水）午前 10 時～正午

場　所／酒田港旧大浜海水浴場（別図のとおり）

その他／・災害発生時または荒天時は予備日へ延期もしくは中止します。
・延期または中止の場合は、当日の午前 8 時 30 分以降にその旨をプレスリリースします。
・水辺に近づいて取材する際は、救命胴衣の着用をお願いします。

●お問い合わせ
消防本部総務警防課警防係　菊地
TEL 31-7124　FAX 31-7129
Eメール keibou@fd-sakata.jp

別図

訓練場所



訓練場所詳細図

